

令和5年度事業報告書

I 事業の概要

昭和聖徳記念財団は、昭和天皇のご聖徳を顕彰し、後世に伝えるため、昭和天皇記念館の管理運営を行うとともに、学術研究への助成、青少年の健全育成及びご事績に関する講演会の開催や出版等の事業を行うことを目的としている。

当財団創設以来の念願であった昭和天皇記念館は、平成14年4月、国土交通省において、昭和天皇ご在位50年記念事業の一環として整備を進めてきた国営昭和記念公園「みどりの文化ゾーン」内の「花みどり文化センター」の一部に設置することとされ、その展示運営については、当財団の協力を得ることと決定された。当財団としては、これを受けて「花みどり文化センター」の一郭に展示施設としての内装を整え、宮内庁をはじめ、(独)国立科学博物館筑波研究資料センター、NHK放送博物館などの協力を得て、平成17年11月27日、昭和天皇記念館を国営昭和記念公園の「みどりの文化ゾーン」の開園と併せ開館し、令和2年に開館15周年を迎えた。

また公益法人制度改革三法が施行されたことに伴い平成23年3月23日公益認定を受け、同年4月1日に公益財団法人へ移行した。

令和5年度も事業計画に沿って、昭和天皇記念館の展示内容に一層の工夫をこらし運営の改善に努め、記念館以外の諸事業についても内容の充実に努めた。

1 公益目的事業

(1) 昭和天皇記念館の管理運営事業 31,015千円

昭和天皇記念館は、昭和天皇のご聖徳をたたえそのお人柄をお偲びするとともに、後世にそのご事績を伝えつぐことを目的として開設した。

昭和天皇並びに香淳皇后のご遺品や映像などの展示により昭和の時代を顧みるとともに、昭和天皇の御心とお姿を一人でも多くの方に知っていただくため、令和5年度においては、平常展示「昭和天皇87年のご生涯」及び「昭和天皇の生物学ご研究」のほか、企画展示として令和4年8月23日から令和5年4月9日まで「京都大宮御所で使われた御用食器」を開催し、その後は4月13日から11月26日まで企画展示「英国王室と日本の皇室～明治から令和まで～」を、11月30日から令和6年3月3日まで企画展示「宮中三殿のまつりと御装束」を実施し、さらに3月7日から6月23日まで企画展示「昭和天皇と祝賀行事」を開催している。

令和5年度の入館者数は、対前年度20%増の9,407名(うち有料入館者

は8, 135名)で、平成17年11月27日の記念館開館以降の累計入館者数は347, 579名となった。

※【記念館管理運営事業収益 3, 163千円】

※【書籍頒布事業収益 172千円】

(2) 生物学、医学等の学術研究への助成 579千円

昭和天皇は、皇居内の生物学御研究所で、ご公務の合間にご研究を続けられた。ご専門は変形菌類、海産動物のヒドロ虫類の分類学的研究だった。また那須や須崎の御用邸、皇居の周辺などでも、植物の調査・研究をお続けになられた。著書も多く出版され、業績は国際的に高く評価されている。

学術研究への助成は、平成3年度から、生物学に関する世界的学究者としての昭和天皇の研究分野(系統分類学)及びそれに関する生物学分野の研究を奨励し、学術研究の推進・発展に寄与することを目的として行い、令和4年度までに104件(応募件数は1551件)の助成を行った。なお、当財団の厳しい財政状況により、本助成事業は令和4年度をもって休止した。

(3) 昭和天皇のご事績普及に関する事業の実施 15, 185千円

①ご事績に関する事業 106千円

毎年行っている、昭和の日を記念して昭和天皇のご遺徳を偲び、ご事績を後世に伝えるための講演とビデオ上映会、昭和天皇のご命日にあたる1月7日の御陵参拝を実施した。昭和天皇・香淳皇后の御陵をはじめ東京豊島岡の皇族方の御墓清掃等の陵墓勤労奉仕は、新型コロナウイルス感染症継続のため、令和5年度も引き続き一般参加者の公募は控えることとしたが、当財団会員有志による陵墓勤労奉仕三団体による勤労奉仕は武蔵野陵墓地及び豊島岡墓地において実施することができた。

②新聞「昭和」発行事業 9, 962千円

昭和天皇のご聖徳を顕彰し、ご事績を後世に伝えるため、新聞「昭和」を平成元年6月から発行、平成7年度からは一般財団法人日本宝くじ協会より助成を受けている。新聞「昭和」では、昭和天皇、昭和の関連記事及び昭和天皇記念館の展示内容、さらには現皇室のご動静記事も掲載している。

令和5年度においても、引き続き新聞「昭和」(年6回、各20,000部)を発行し、記事の内容の充実に努め、各所に配布した。

※【日本宝くじ協会助成金収益 6, 320千円】

③昭和天皇御製カレンダー製作事業 5,117千円

昭和天皇のご聖徳を顕彰し、後世に伝えるため、宮内庁の許可を得て平成6年から「昭和天皇御製カレンダー」を製作、贈呈頒布している。

令和5年度においても、引き続き昭和天皇のご遺徳、御製を広め伝えるため、令和6年版「昭和天皇御製カレンダー」(5,700部)を製作、贈呈頒布した。

※【御製カレンダー事業収益 3,864千円】

事業費合計 46,779千円

※助成金等収益計 △13,519千円

33,260千円

2 収益事業

昭和天皇記念館MS事業 3,401千円

昭和天皇記念館において、入館者のために記念となる品々の頒布を目的としたミュージアムショップの事業を営んだ。

※【記念館MS事業収益 4,263千円】

II 主要な人事

令和5年

○ 6月21日 大 給 乘 龍 氏 理事重任
廣 瀬 道 男 氏 理事重任
打 田 文 博 氏 評議員重任
北 川 治 男 氏 評議員重任
熊 坂 隆 光 氏 評議員重任
杉 德 昌 氏 評議員重任
田 中 勇一郎 氏 評議員重任
山 崎 一 紀 氏 評議員重任
榑 野 良 明 氏 評議員就任
林 慎 平 氏 評議員就任
森 勉 氏 評議員就任
寺 島 泰 三 氏 評議員退任
百 武 伸 茂 氏 評議員退任
四ツ倉 偉 隆 氏 評議員退任

令和6年

○ 3月19日 井 出 元 氏 評議員就任

北川治男氏 評議員辞任

増田優一氏 顧問就任

Ⅲ 主要な会議

1 理事会の開催

○第32回理事会

日 時 令和5年6月6日（火） 14:00～15:10

場 所 砂防会館 別館特別会議室

理事現在数及び定足数 現在数11名 定足数6名

理事出席9名、監事出席2名、同席者1名

議 事

第1号議案「令和4年度事業報告書の承認」の件

第2号議案「令和4年度財務諸表の承認」の件

第3号議案「第26回評議員会(定時)招集」の件

第4号議案「理事候補者推薦」の件

第5号議案「評議員候補者推薦」の件

報告事項

(1) 基本財産等の運用について

(2) 昭和天皇記念館の状況について

—展示リニューアルについて—

○第33回理事会

日 時 令和6年3月6日（水） 14:00～15:10

場 所 砂防会館 別館特別会議室

理事現在数及び定足数 現在数11名 定足数6名

理事出席9名、監事出席2名、同席者1名

議 事

第1号議案「募集特定寄附金に係る募金目論見書の承認」の件

第2号議案「令和6年度事業計画書の承認」の件

第3号議案「令和6年度収支予算書の承認」の件

第4号議案「第27回評議員会(定時)招集」の件

第5号議案「評議員候補者推薦」の件

第6号議案「顧問委嘱」の件

報告事項

(1) 基本財産等の運用について

- (2) 昭和天皇記念館の状況について
—展示内容刷新計画及び募金について—

2 評議員会の開催

○第26回評議員会

日 時 令和5年6月21日(水) 14:00～14:50

場 所 砂防会館 別館特別会議室

評議員現在数及び定足数 現在数11名 定足数6名

評議員出席9名、監事出席2名、理事出席3名、同席者1名

議 事

第1号議案「令和4年度事業報告書の承認」の件

第2号議案「令和4年度財務諸表の承認」の件

第3号議案「理事選任」の件

第4号議案「評議員選任」の件

報告事項

(1) 基本財産等の運用について

(2) 昭和天皇記念館の状況について

—展示リニューアルについて—

○第27回評議員会

日 時 令和6年3月19日(火) 14:00～15:00

場 所 砂防会館 別館特別会議室

評議員現在数及び定足数 現在数11名 定足数6名

評議員出席10名、監事出席2名、理事出席3名、同席者1名

議 事

第1号議案「募集特定寄附金に係る募金目論見書の承認」の件

第2号議案「令和6年度事業計画書の承認」の件

第3号議案「令和6年度収支予算書の承認」の件

第4号議案「評議員選任」の件

報告事項

(1) 顧問委嘱について

(2) 基本財産等の運用について

(3) 昭和天皇記念館の状況について

—展示内容刷新計画及び募金について—

IV 会員の状況

令和6年3月31日現在会員数

個人会員	368人
法人会員	33社
賛助会員	30件
個人終身会員	3,529人
<u>法人永久会員</u>	<u>25社</u>
計	3,985

《 附属明細書 》

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。